

# ICTニュース1月号

院内感染対策委員会 1月

## 全国的に流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）が流行中 青森市内も注意報が！！

臨床経過は、2～3週間の潜伏期（平均18日前後）を経て、唾液腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主症状として発症し、通常1～2週間で軽快します。

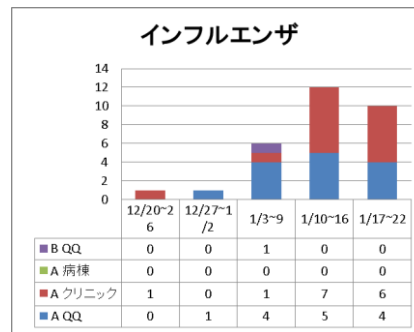
唾液腺腫脹は両側、あるいは片側の耳下腺にみられることがほとんどで、顎下腺、舌下腺にも起こることがあり、通常48時間以内にピークを認めます。接触、あるいは飛沫感染で伝搬するが、その感染力はかなり強い。ただし、感染しても症状が現れない不顕性感染もかなりみられ、30～35%とされています。流行性耳下腺炎およびその合併症の治療は基本的に対症療法であり、発熱などに対しては鎮痛解熱剤の投与を行い、髄膜炎合併例に対しては安静に努め、脱水などがみられる症例では輸液の適応となります。

効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法。概ね90%前後が有効なレベルの抗体を獲得するとされています。


あおもり協立病院 クリニックの発生状況

## 青森市内 インフルエンザ 流行期入り！！

件数は増加傾向になっています。  
割合はA型が97.7%となっております。  
当院エリアの発生状況も増加傾向です。  
手指消毒、サージカルマスクの正しい着用、  
交換タイミングなど感染対策の遵守をお願い  
します。



全職員対象で流水下の手洗いチェック行っています。正しい手洗いできましたか？



**感染予防 1月標語！**

自信を持ってアピール  
安心！アゲサイ、洗っています

